

コミュニティ南越谷 第96号

http://minamikoshigaya.sakura.ne.jp

平成31年(2019年)3月29日発行 南越谷地区コミュニティ推進協議会 編集:広報・文化部 TEL 048-990-1200

主催/越谷市・南越谷地区自治会連合会・南越谷地区コミュニティ推進協議会

第35回越谷市・南越谷地区合同総合防災訓練

南越谷小学校校庭・小学校体育館・南越谷地区センター 3月10日(日)

19年振りに越谷市との合同防災訓練が約2千2百名(うち中学生164名)参加で実施されました。主催者は複数回協議を重ね、南越谷地区の特徴を踏まえた帰宅困難者対策訓練とマンションのベランダにある隔て戸を蹴破る訓練も加えました。傷病者搬送訓練、倒壊建物救出訓練や避難所開設訓練など各種の訓練参加者は、消防署職員等の指導のもと積極的に訓練を行いました。陸上自衛隊・新日本ヘリコプター(株)やドローンによる被害状況調査、各機関によるライフライン復旧、ポンプ車による消火操作、高崎市(災害時相互応援協定市)と越谷警察署より救護物資の輸送、学校給食センターの「おにぎり」、南越谷地区住民と自衛隊による「すいとん」の炊出し訓練が行われました。

公民館主催の「まなぼうさい」では体験・グッズの展示、更にはスタンブラリーに253名が参加して廃油で作ったエコキャンドルをもらいました。

閉会式では越谷市消防署三木消防長の講評と高橋市長より訓練参加協力に感謝の言葉がありました。南越谷地区自治会連合会清水会長の閉会の言葉で終了しました。その後、「すいとん」「おにぎり」「アルファ米」「クラッカー」の配食がありました。



シェイクアウト訓練(姿勢低く・頭守って・動かない)



帰宅困難者対策訓練



炊出し訓練 体験訓練「バッククッキング※」



傷病者搬送訓練 倒壊建物救出訓練 蹴破り訓練



水消火訓練



バケツリレー消火訓練



VR消火体験



高所救出訓練



ポンプ操法訓練



簡易間仕切り組立訓練 まなぼうさい(体験・展示)

※バッククッキング: ポリ袋に食材を入れて湯せんで火を通す調理法

自治会シンポジウム

元気な地域の創り方=人づくり

2月16日(土)、第9回自治会シンポジウムが越谷市中央市民会館で開催されました。昨今、自治会を取巻く環境は高齢化社会の到来や、自治会加入者の減少等大きく変化しています。そこで自治会運営の一助となることを目的に、まちづくりアドバイザーの西川りゅうじん氏による「元気な地域の創り方」をテーマに講演がありました。

これから目指すべき「まちづくり」のポイントは、「ソフト・ハード・情熱」である。また「まちづくり」を成功させるキーワードは、「あい・う・え・お」すなわち「あい・心・癒し・うまい・選ばれる・おもてなし」である。



西川のりゅうじん氏



越谷市は15歳未満の人口が県内3番目に多くて、子どもが多く住みやすい環境にある。

若者が住みたい町にするにはどうするか、未来の越谷市を担う若者にチャンスを与え、それを支援する姿勢が大切である。ステージより降りて質問に答えられていました。

「緑のオアシス」に認定

昨年5月に「こしがや緑のオアシス20プロジェクト」の一環でゴーヤの苗を南越谷地区センター・公民館玄関前に植えました。

この度、越谷市から「緑のオアシス」に認定され、認定証と認定プレートをいただきました。



お知らせ

南越谷地区コミュニティ推進協議会 総会
5月10日(金) 午後7時 南越谷地区センター

編集後記

越谷市・南越谷地区合同総合防災訓練は晴天に恵まれ、多くの皆様のご参加をいただき、ありがとうございました。春はスタートのとき、特に今年は新しい時代の始まりを期待いたします。

南越谷小学校地域懇談会

多種の学校応援団に感謝

3月5日(火)、南越谷小学校で本年度第2回地域懇談会が、学校評議員、PTA、地区センター所長、自治会長、民生委員・児童委員、見守りボランティアの28名の参加で開催されました。

初めに戸張校長より日頃の支援に感謝の言葉がありました。次に教頭より「学校応援団」の活動を画面で説明、学校評価と今年度の取り組みについて資料を基に説明がありました。その後質疑応答に入り、小中一貫教育や子ども見守り等について話し合われました。

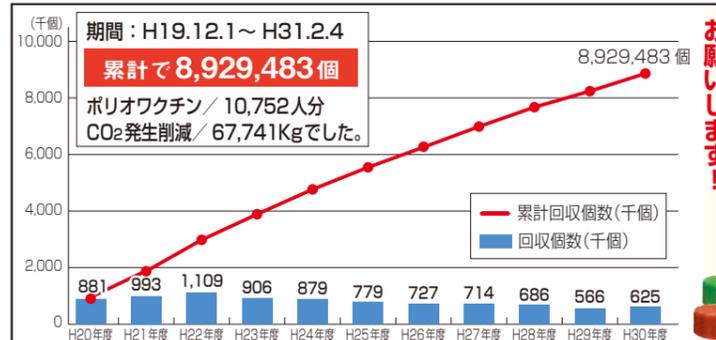


地域包括支援ネットワーク会議

独居高齢者世帯増加に向けた対応

3月1日(金)、南越谷地区の自治会長、民生委員・児童委員45名が出席して、平成30年度第3回の南越谷地区地域包括支援ネットワーク会議が地域包括支援センター南越谷の主催で開催されました。

初めに支援センター南越谷への相談状況とケース検討会議の報告があり、続いて9グループに分かれ「独居高齢者世帯増加に向けた対応」について話し合い、その問題点を提示し、今後の課題としました。これまでと違う地域の方と一緒にグループになって話し合うことができ有意義でした。



ボトルキャップ回収報告
今後ともよろしく
お願いします!!

環境・衛生部会 **花いっぱい運動**

地区内自治会に配布
 3月2日(土)、本年度4回目となる「花いっぱい運動」が南越谷地区センター・公民館の玄関前にて行われました。コミ協環境・衛生部会員が、何色ものビオラの花苗600ポットを色とりどりのセットに分けて、希望する19自治会に配布しました。



な花を咲かせて、環境美化や防犯にも役立ててくれるでしょう。

環境・衛生部会 **南越谷地区クリーン活動**

街をきれいにしましょう
 2月16日(土)、「南越谷地区クリーン活動」がコミ協環境・衛生部会を中心に16名の参加で行われました。午前9時に地区センター前に集合し、新越谷駅・南越谷駅方面の北コースと蒲生駅方面の南コースの2グループに分かれて出発しました。リヤカーには「街をきれいにしましょう」の昇り旗を掲げ、路上、植え込み、公園などの空き缶、ペットボトル、たばこの吸い殻などの「コミ



を2時間程かけて丁寧に収集した結果、可燃ゴミ5袋と不燃ゴミ2袋が集まりました。

成人式 **志を高く持ち、羽ばたけ未来へ**

1月13日(日)、午前11時より富士中学校体育館にて、多くの来賓を迎え成人式が開催されました。富士中学区内の新成人356名の内280名が出席し、女性の晴れ着姿がひととき目を引く華やかな式典となりました。

新成人実行委員の鶴見愛さんの司会で飯島実行委員長、高橋市長、瀬賀市議会議員から祝辞が述べられました。それに応えて新成人を代表して宮崎幹太さんから心強い誓いの言葉がありました。

恩師紹介では、大きな歓声が飛び交い、先生と生徒の絆の深さを知ることができました。式典後に



誓いの言葉



は、抽選会と恩師を囲んでの茶話会で賑やかなひとときとなりました。新成人の今後の活躍が期待されます。

越谷市かるた取り大会

2月11日(月)祝、第34回彩の国21世紀郷土かるた越谷市かるた取り大会が越谷市立総合体育館で行われました。

南越谷地区大会を勝ち抜いた団体戦4チームと個人戦4人の選手が出場し、練習の成果を発揮し頑張りました。このうち団体1チーム(赤山



3丁目子ども会)がベスト8に入り健闘しました。今回は4年生や5年生の選手が多く今後の活躍が楽しみです。

第11回協働フェスタ みんなで作ろう地域と市民のまちづくり 1月26日(土)

講演会
 越谷市コミュニティ推進協議会主催の第5回まちづくり講演会が越谷中央市民会館劇場で開催されました。

初めに地域の催し物では「越ヶ谷小学校木遣り保存会の演技、キッズダンス「クロイツ・ダンスアート」が披露されました。

続いての講演では、「笑顔で広げる地域の輪」と題し、元NHKキャスター村松真貴子氏が司会者や観客を巻き込み、ユニークな方法で上手な自己紹介の方法などを説いた



キッズダンス



村松真貴子氏

展示

越谷中央市民会館の前庭や1階5階のロビー、各部屋で越谷市の88団体の展示・体験・演奏等が9時30分〜15時30分まで行われました。

南越谷地区コミ協では、地区フェスティバルを紹介したパネル(中央に環境・衛生部会と防犯部会のイベントを強調した)と色とりどりのペットボトルキャップを使って描いたガーヤ



ちゃんを展示したところ、ボトルキャップ回収の取り組みについて多くの反響がありました。

むかしからのあそび大会

1月18日(金)、南越谷小学校1年生の授業として「むかしからのあそび大会」を南越谷地区センター、南越谷小学校教室・体育館・校庭にて午前9時30分からコミ協福祉部会員をはじめボランティアの皆さん26名が講師となって行われました。

10種目(こままわし、けん玉、紙でつぼう、ゴムでつぼう、お手玉、折り紙、はねつき、竹とんぼ、紙ひこうき、たこあげ)を小グループに分かれて遊びました。子どもたちは、講師の指導で繰り返し楽しんで挑戦していました。

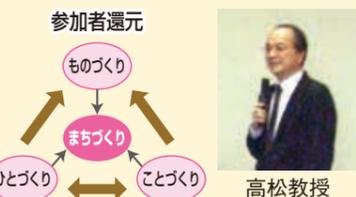


コミュニティ連絡会議 地域防災力の強化

3月11日(月)、平成30年度コミュニティ連絡会議が越谷中央市民会館で開催されました。開会の挨拶の後、事例紹介として桜井地区コミ協の「桜井地区防災マップ作成活用まで」と南越谷地区コミ協の「地域防災に関する取り組み」について発表がありました。

南越谷地区コミ協防災部会は「災害は忘れないうちをやってくる」を掲げ、地区自治会との取り組みを説明しました。

次に「地域防災力の強化について」をテーマに獨協大学教授高松和幸氏の講演がありました。



阪神淡路大震災(1995年1月17日)では近隣の人によって8割以上の生命が助けられた、地域の力は大きい、防災訓練活動で実践を通じて地域防災力の意識向上が図れる、と説明されました。

高松教授